

学校だより

姫小通信

妙高市立姫川原小学校

第1号

平成24年4月25日

電話72-2409

メール himegawa@ac.city.myoko.niigata.jp HP <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/himega-s/>

春がやってきました



誰しもが桜の季節を心待ちにしていた。大雪だったせいもあり桜の季節が恋しかった。先週末蕾だった桜が一斉に咲きほころんだ。今グラウンドの桜は実に美しい。見事の一言だ。木々の芽吹きや雪解けも春の訪れだが、桜の開花は本当の春の到来を告げているようだ。そんな気持ちにさせてくれる。

「今はつらくとも必ず春はやってくる」「来ない春はない」など、昇らぬ太陽はないと同様に、励ます言葉として使われる。前向きに生きる生き方を伝える話の中に、雪国の私たちの暮らしがだぶってくる。そんな心境にさせる今年であった。何回も雪下ろしや雪かきに明け暮れた冬を思うと、のど元過ぎればで、桜の開花は、大変だった季節を忘れさせてくれる存在かもしれない。

昭和五十年代、私は東頸城の学校に勤めていた。五メートルを超す雪に閉口しながらも、下宿のおばさんは、出稼ぎに行つて男手のない冬を一人で守り、近所の人と力強く生きていた。当時、春を待つ地域の人たちの冬の楽しみが宝引きだった。おばさんは一緒に宝引きに連れて行ってくれた。今思うと貴重な体験をたくさんさせてもらった。春を待つ気持ちが一緒となり、豊作を願い作った繭玉も、家の中に本当に咲いた花のようだった。山に春一番先に咲くというまんさくの花を教えてもらったのもその時だった。

学校に、かわいい十一の花が咲き、春がやってきました。

学ぶ喜びが

あふれる学校に



入学おめでとう

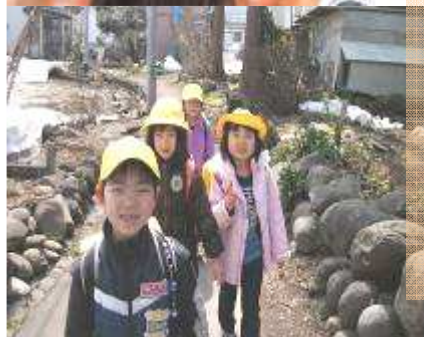
十一名のかわいい新入生を迎えました。呼名の際、大きな声で「はい」と、手をあげながら立派な返事を一人一人ができました。平成二十四年度姫小は、百二十の瞳がそろい、スタートとなりました。

さて、下の写真は、始業式の日の二年生の黒板です。一年生から二年生に進級した喜びが、黒板いっぱい広がっています。思い思いの頑張りたいう気持ちを、所狭しとチョークをもって、我先に書き始めた様子が伝わってきます。よく見ていくと、「九九をがんばりたい」「プールで泳げるようになりたい」「習った字をすらすら書けるようになりたい」「やりたいことをいっぱい見つけることができました。二年生でこれから始まる学習が早くも分かっているようです。黒板は教師だけのものではなく、子どもに解放されてこそ、本当の学びになるといわれています。スタートに思いっきり全員が黒板に参加できるのは幸せです。

このように学校では、学期始めを大切にしています。初めての担任はもちろんのこと、もちあがりの担任でも春は「学級開き」といいます。担任は、自分を自己開示し、子どもとの距離を縮めながらも、「私は、こんなクラスをみんなと作っていききたいんだ」という強いメッセージを送っていきます。集団で学ぶ学校の高さを感じられるクラスへの思いが生まれていくのです。これからクラスという集団の質の高まりを徐々に感じられる毎日を過ごしてほしいと思います。

クラスの質の高まりが学校の力となります。学校の高さは、高学年で決まるといわれています。全校を引っ張る高学年の質の高まりに期待しながら、子どもを励まし支え、学ぶ喜びにあふれる学校を目指し、活力のある学校を作っていきます。

保護者の皆様はじめ、地域の皆様のこれまで以上のご支援をお願い申し上げます。



チーム姫川原 力を合わせて頑張ります!



松原貴行 (用務員)

姫小に勤務できることに感謝すると共に、学びやすい環境づくりに、今年も全力で取り組みます。

江戸美夏 (3年担任)

新井中央小から参りました。6年前に1カ月だけお世話になったことがあります。姫小の子どもたちに出会えてワクワクしています。

中村浩崇 (5年担任)

ラーメン・フットサル大好き!! 子どもたちの運動能力向上を目指し頑張るぞ~

本田晃真 (教務・4年担任)

あっという間に4年目。子どもたちのパワーに負けないよう頑張ります。

島田ふみ子 (調理員)

2年半を迎えました。姫小のかわいい子どもたちのために一生懸命頑張ります。

富里文枝

(特別教育支援員)
4年目を迎えました。子どもの力が最大限に発揮できるよう支援していきます。

竹内美穂子

(養護教諭)
何でも頑張る姫小っ子が大好きです。心と体の健康を守っていきます。

川住純子 (6年担任)

大湯町小より参りました。ガンダムのような強靱な体と女神のような優しい心で頑張ります。

小島美香

(2年担任)
今年子どもたちと畑作りに頑張ります。子どもたちを応援し、楽しくやっています。

青木和子 (調理員)

子どもたちのためにおいしい給食を作る日々。5年目の今年も頑張ります。

荒川 圭子 (校長)

糸魚川の南能生小から参りました。いくつになっても「感謝・感動・感激」を忘れない自分でいたい。地域と共に歩む学校づくりを進めます。

飯塚裕 (教頭)

2年目になります。保護者と地域の方々との窓口として頑張ります。

新井美由紀

(事務主任)
姫小っ子のように、明るく元気がキャッチフレーズの新井です。入りやすい職員室を作ります。

辻 亜紀子 (1年担任)

1年間の育児休暇を終え復帰しました。子どもたちと一緒にいろいろなことにチャレンジしていきます。

学校便り「姫小通信」平成24年度第1号をお届けします。全頁校長荒川が、「親しみやすく・読みやすく・分かりやすく」をモットーに頑張ります。よろしくお祈りします。なお、これまで子どもたちが配付する地域がありましたが、5月より全地域に市の広報の配付日に間に合うようお届けします。各地区の文書係の皆様にご面倒をおかけしますがよろしくお願い申し上げます。

歩道橋入り口に枝打ちした桜をまとめておきました。お入り用の方は自由にお持ち帰りください。

